

報道関係各位

生きているミュージアム NIFREL

## フンコロガシの仲間「オオセンチコガネ」を展示 ～ミニカバ「テンテン」やパルマワラビーのフンを食べています～



大阪府吹田市「EXPOCITY」の生きているミュージアム「NIFREL(ニフレル)」では、2022年10月5日(水)から30日(日)まで、「わざにふれる」ゾーンにて、国内に生息するフンコロガシの仲間「オオセンチコガネ」(体長約2cm、10匹程度)を展示いたします。

オオセンチコガネは、主に哺乳類のフンを食べる「糞虫(ふんちゅう)」の仲間、国内では北海道から九州まで広く生息しています。生息地によって体の色が異なり、メタリックグリーンやメタリックブルー、ブロンズカラーなど金属色の強い光沢を持つ非常に美しい昆虫です。

フンコロガシといえば、ファーブル昆虫記に登場し、前足で逆立ちして後ろ足でフンを転がすユニークな行動で知られますが、「オオセンチコガネ」は前足でフンをつかんで後ろへ引きずりながら巣穴へ運び、自分で食べたり、卵を産みつけて幼虫のエサにします。

今回展示する「オオセンチコガネ」は、兵庫県川辺郡猪名川町の山中や奈良県内で採集したものです。国内では約160種の糞虫が確認されており、糞虫が分解したり、地中の巣穴に埋めた動物のフンが植物の養分となって、里山や公園の環境保全に大きく役立っています。



糞虫の名に似合わない金属色の美しい体色をしています。



パルマワラビーのフンを運ぶオオセンチコガネ

【本件に関する報道関係のお問い合わせ先】

NIFREL(ニフレル) PR・広報担当 田井、西前  
TEL: 06-6876-2204 FAX: 06-6876-2235 MAIL: nifrel.pr@nifrel.jp

## 【オオセンチコガネの展示について】

《展示期間》2022年10月5日(水)～30日(日)

《展示場所》館内1階「わざにふれる」ゾーン

《展示数》10匹程度

《協力》ならまち糞虫館、猪名川町役場、森林ボランティア猪名川町里山倶楽部

《お問い合わせ》ニフレルインフォメーション TEL0570-022060(ナビダイヤル)



## 《生きているミュージアム『NIFREL』施設概要》

名 称：NIFREL（ニフレル）（館長：小畑 洋）

運 営 会 社：株式会社海遊館（大阪市港区、社長：村井 弘幸）

所 在 地：吹田市千里万博公園 2-1 EXPOCITY 内ニフレル

営 業 時 間：平日 10：00～18：00 土日祝 9：30～19：00（最終入館は閉館の1時間前）

：※状況により変更する場合があります。

休 館 日：年中無休。 ※年に1回設備点検のための臨時休業あり。

施 設 内 容 8つのゾーン【いろにふれる、わざにふれる、およぎにふれる、WONDER MOMENTS、かくれるにふれる、みずべにふれる、うごきにふれる、つながりにふれる（生きもの約150種・約2000点）】

：ピクニックカフェ「EAT EAT EAT」（200㎡・112席）、ミュージアムショップ（NIFREL×NIFREL）

入 館 料 金：大人（16歳以上）・高校生 2,000円、小・中学生 1,000円、幼児（3歳以上）600円

交 通：大阪モノレール「万博記念公園駅」徒歩2分

駐 車 場：約4,100台（EXPOCITY全体用駐車場）

構 造 規 模：S造（一部SRC造、RC造）3階建

建 築 面 積：約3,500㎡（約1,060坪）

延 床 面 積 約7,200㎡（約2,180坪）

※ 公式ホームページ <https://www.nifrel.jp>※ ツイッター [https://twitter.com/nifrel\\_official](https://twitter.com/nifrel_official)※ Facebook <https://www.facebook.com/nifrel.jp>※ インスタグラム [https://www.instagram.com/NIFREL\\_OFFICIAL](https://www.instagram.com/NIFREL_OFFICIAL)